

# 人権感覚についての自己チェックリスト（逗子市立

# 学校）

氏名		第1回実施日	月	日( )	
	助言者	第2回実施日	月	日( )	
		第3回実施日	月	日( )	
I 日常の言動		実施	自己評価		必要度
① 児童生徒の名前の呼び方をそろえている			A B C		
② 児童生徒を罵倒したり人格を否定せず、具体的な行動について指導している			A B C		
③ 忘れ物をした児童生徒の名前を掲示しないなど、非難の対象にならぬよう配慮している			A B C		
④ 暴力を容認するような言動をしないよう気を付けている			A B C		
⑤ 指導する際には感情的にならず、冷静に対応している			A B C		
II 児童生徒・保護者との関わり		実施	自己評価		必要度
① 児童生徒を指導するときや話をするとき、ドアを開放したり、複数の教員で対応している			A B C		
② 児童生徒の体に触れるようなことはせず、適切な距離を保つようにしている			A B C		
③ 携帯電話、メール、LINE、SNSなどで、児童生徒や保護者と個人的なやり取りをしないようにしている			A B C		
④ 発問や指名などをするとき、多くの児童生徒が参加できるよう工夫している			A B C		
⑤ 対応の仕方が、保護者や家族に対する非難にならないよう配慮している			A B C		
⑥ 欠席者への連絡や配布物などについて、必ず届くように配慮をしている			A B C		
⑦ 特定の児童生徒への個別指導が必要以上に多くならないようにしている			A B C		
III 児童生徒同士の関係への配慮		実施	自己評価		必要度
① ふざけあいやあだ名などで、嫌な思いをしている児童生徒がいないか気をつけている			A B C		
② 落書きや掲示物へのいたずらなどの異常がないか、常にチェックしている			A B C		
③ 的外れな発言などを失笑したり馬鹿にしたりする場面では、適切に指導している			A B C		
④ 一日の反省などの場面では、個人攻撃にならぬよう配慮している			A B C		
IV 集団の中での人権に配慮する		実施	自己評価		必要度
① 児童生徒の容姿や体型などについて、不適切な発言をしないよう配慮している			A B C		
② 児童生徒の能力や特性などを否定するような言動がないように気を付けている			A B C		
③ 児童生徒の努力が集団の中で認められるように配慮している			A B C		
④ 勝敗の生じる活動では、結果に偏重せず努力に目を向けるよう指導している			A B C		
⑤ 叱責などの指導については、他の生徒の前ではなく個別に対応するよう配慮している			A B C		
V 適切な評価		実施	自己評価		必要度
① 兄弟姉妹や他者との比較ではなく、以前の状態と比べた肯定的な評価をしている			A B C		
② 性格や人格のせいにならず、具体的な行動を取り上げ指導している			A B C		
③ 結果だけで評価せず、意欲や取り組みの経過をよく観察して評価している			A B C		

※ このチェックリストは、本市教育研究所巡回チームの専門的な助言を経て独自に作成したものです。

※ 「児童・生徒指導についての自己チェックリスト」と合わせて活用いただくと効果的です。